

平成 30 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 30 年 8 月 12 日（日）

開会：午後 1 時 00 分 閉会：午後 2 時 20 分

場所：城山 3 丁目（城山中央集会所）

参加者：男 21 人、女 9 人 計 30 人

町職員：町長、副町長、建設部長、政策課長、政策課員

- ・開会 13:00
- ・町長報告 13:03～13:25
- ・懇談 13:25～14:20
- ・閉会 14:20

○懇談

男性 1 駅前開発の計画では都合のいい話を全部寄せ集めたような気がします。一つ抜けていて、雇用確保の部分が入っていないと思いました。こういう結果となったのは、何か抜けていたということなののでしょうか。

町長 雇用の問題については、駅前開発の中でも考えていました。稼げる農業に今取り組んでいます。新しい農業を順次始めて、加工して販売する所も駅前で考えていました。企業誘致についてよく言われますが、町には土地がありません。東員町の中で東員町の雇用を増やすために、新しい農業を考えていかねばならないと思っています。多くの計画が駅前に集約されており、その中に足りないものがあつたため、事業者が撤退したのではないと思いますが、撤退については我々の見通しの甘さがあつたと思います。我々は 10 年先ではなく、もっと先を見据えたまちづくりを考えていかねばならないと思っています。

男性 1 駅前に多くを入れ過ぎたのではないかと期待しすぎて全てがだめになってしまったのではないかと思ったのですが。

町長 町がやらなければならないものと考えて、この場に期待したのは間違いありません。表に出てきたのは最近かもしれませんが、何年も前に計画していたことです。もう一度一つ一つを分解して考え直していかねばならないと思っています。中学校の建て替えも今後 50 年間その場所になりますので、通学の安全も考慮しながら、何とか真ん中で考えられないかと協議しながら取り組んでまいります。

男性 2 ネオポリスの中の上下水道管の耐震化はどの程度できていますか。また、現状の調査を

していますか。

建設部長 耐震化計画を作っては計画的に行っています。ネオポリスの水道は铸铁管になっています。下水道は当時の耐震レベルにあった基準でしています。下水の調査はやっており、現状では問題はありません。

男性2 地震になったら火事もあるし、水道が使えなかったらと心配しています。

建設部長 団地には100t単位の耐震貯水槽を完備しています。飲み水にも消火活動にも使えます。桑名市消防署東員分署も東員消防署に格上げされ、消防活動についてもしっかりやっていただけだと思います。

男性2 下水は使えなくなったら代わりがないが大丈夫か。

建設部長 防災部署とともに対応を考えています。マンホールトイレというのは検討していますが、具体的にどこというのは決めていません。耐震計画はしっかり立てていますのでよろしくお願いいたします。

男性3 6次産業を進めているのは具体的に何をしていますのですか。

町長 大豆で取り組んでいます。フクユタカという種類が国内はほとんどですが、違う品種で考えています。ナナホマレという品種で、中性脂肪を下げる効果があり、その品種でおからの出ない豆乳、豆腐を作っていこうとしています。おからは産業廃棄物になりお金を出して処分しなければならないので、おからが出ない加工方法ができる工場を誘致して、東員町で加工し販売することを考えています。ほかにブドウやブルーベリーなどハウス作物も順次考えていこうとしています。

男性4 病気で治療が必要でも働かなければならないこともあります。病気の治療をしながら、働くことができるような受け皿が東員町にできないでしょうか。

町長 町内の企業には訪問させていただき、要望もさせていただいています。障がい者雇用の要望などもしていますが、企業訪問の機会にはそういう話もさせていただきたいと思います。

男性5 防犯灯ですが、城山3丁目は120本ほどありますが、城山1丁目には200本ほどあり、80本ほど差があります。なぜなのでしょう。桜の木を伐ってほしいといった時に、以前は無理でしたが、事故があつて伐るということになった。事故がないとしないのか。また道路標示が消えているけど、行政は何かないと動けないのでしょうか。

町長 防犯灯は地域に差があるわけではなく、暗い場所について自治会から要望があれば、適宜つけていきます。ただし、一つの自治会で年間3本までと決まっていますので時間はかかります。桜の木を伐らないと話をした覚えはなく、歩道の安全を考えて伐っています。いま順次街路樹を伐って歩道の整備をしています。

建設部長 路面標示には町がするものと、県の公安委員会がするものとがあって、規制のかかる横断歩道や停止線などは所轄の警察署から公安委員会に要望するしかありません。町ができるものは、自治会から要望があれば、現地を調査させていただきます。

男性5 去年の懇談会で自治会ごとに一番多い要望は何なのか。そういったものをもっと整理してまちづくりに活かしていかなければならないのではないかと。空き家の問題が多かった気がします。そういった内容をきちんと整理しなければならないと思います。

町長 まとめてはありますが、地域によって要望が違います。自治会で出された課題は自治会長を通じて回答をしています。空き家の問題は今年も結構でています。ただ、答えがなかなか見いだせていないのが問題です。空き家は笹尾・城山については本当の空き家は少ないです。問題となっているのは、空き家でなく、持ち主が転勤などでいなくて管理ができていない空き家です。本来は持ち主が管理しなければならないもので行政がすることはできませんので、持ち主に指導はしていますが、なかなか難しいのが現状です。

政策課長 この町政懇談会の内容は要約して、町のホームページに準備でき次第掲載していきます。その場で答えることができなかつたものは、後日自治会長を通じて回答させていただいております。

男性6 東員駅前開発はプロポーザルなどきちんとした手順をふんでいたのでしょうか。積水ハウス(株)との契約とかしていないのであればさんな町政運営なので、責任を取るのかとらないのか。辞任するとか降格させるとかね。

今ネオポリスのバスの本数も減っています。団塊世代が東員町には多いですが、団塊ジュニアは外に出てしまい、東員町には少ない。町内から出て行った団塊ジュニアが戻ってくるようなまちづくりにしてほしい。これは要望です。さっきの責任取るとかどうかという話はここだけの話ですが、普通は責任とりますよ。

町長 非常に的確なご意見だと思います。たしかに協定書は結んでいません。こうなった我々の責任は非常に重いと思います。駅前で考えていたことを一つ一つ組み立てなおして考えていかねればならないと思っています。

男性2 駅前の予算はどうなるのか。

建設部長 補正予算で組んだ 500 万円ほどは使っていませんので戻します。

男性 7 農地転用はしていたのですか。

町長 市街化編入になれば農地転用はできますという話になっていました。東海農政局にも話をしていました。